

令和 4 年度 三郷市総合教育会議資料

日本一の読書のまち三郷の取り組みについて



令和 5 年 2 月 13 日(月)

三郷市教育委員会 生涯学習部

第5次三郷市総合計画前期基本計画

重点テーマ

ふるさと三郷みんながほほえむまちづくり



多様性のある地域の確立（地域コミュニティの充実）



【日本一の読書のまち推進事業】



- ◆読書を通じた交流の推進
- ◆読書環境の整備
- ◆世代を超えた人々がつながる機会の創出

日本一の
読書のまち
宣言

H25.3.18

将来像

読書活動をとおして人と人との絆を結び、
誰もが、いつでも読書に親しみ、
心豊かに暮らすことができる、
文化のかおり高いまち

第2次日本一の読書のまち三郷推進計画
(R3年度～R7年度)

～計画のキャッチフレーズ～

日本一「本とふれあえるまち」

基本方針

- どこでも本と出会える環境【地域】
- いつでもそこに本がある人生【機会】
- 誰でも本を通じてつながる【人】

第2次日本一の読書のまち三郷推進

計画の根本 第5次三郷市総合計画

将来像 読書活動をとおりて人と人との絆を結び、誰もが、いつでも

基本方針1 どこでも本と出会える環境

地域	☆	全世代
1 本の架け橋まるごとネットワークによる知の財産の活用 (ふれあいブックワゴン等)	☆	全世代
2 公共施設等の図書環境の整備		全世代
3 多様性に配慮した読書環境の整備と充実		全世代
4 出張図書館サービスの拡充と特集コーナーの巡回		全世代
5 寄贈本の受け入れとリサイクルブックフェア等の開催	☆	全世代
6 「ふれあい文庫」の設置による読書機会の拡充		全世代
7 学校図書配置		児童・生徒

☆は今計画で重点的に取り組む施策です

基本方針2 いつでもそこに本がある人生

機会	全世代
1 レファレンスサービス・課題解決サービスによる支援	全世代
2 図書館の利用を促進するための事業、講座、サービスの実施	全世代
3 ブックコラボレーションの推進	☆
4 読書活動を促す講座・講演会の開催	全世代
5 郷土資料の収集・整理、市の歴史や文化に触れる機会の充実	全世代
6 ブックススタート事業の実施	乳幼児、成人
7 らんどせるブックよもよも事業の実施	児童、成人
8 小・中学校における読書活動の推進と充実	児童・生徒
9 学校図書館の充実	児童・生徒

☆は今計画で重点的に取り組む施策です

取り組みに対する年齢階層とイメージ

名称	対象となる年齢
乳幼児	0歳児から小学校入学前まで
児童・生徒	小学校入学から中学校卒業までの義務教育期間
青少年	中学校卒業から成人未満
成人	成人から概ね65歳まで
高齢者	概ね65歳から
全世代	すべての年齢階層

計画(令和3～7年度)に関する体系図

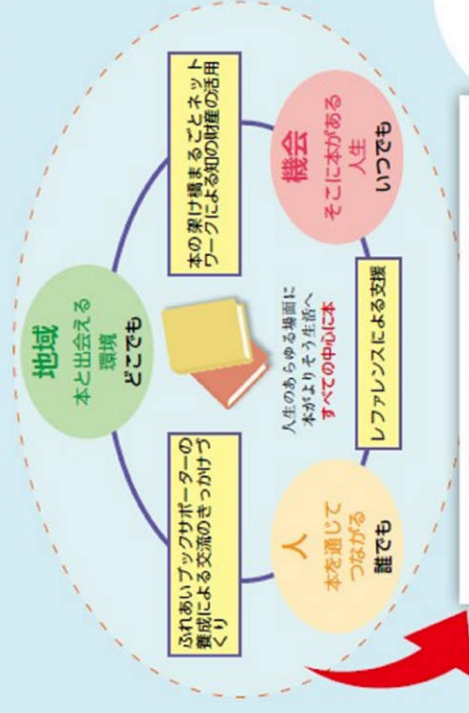
日本一の読書のまち宣言

読書に親しみ、心豊かに暮らすことができる、文化のかおり高いまち

基本方針3 誰でも本を通じてつながる

人	☆	全世代
1 ふれあいブックサポーターの養成と活動支援	☆	全世代
2 読書活動の周知と情報提供		全世代
3 読書による交流事業の実施		全世代
4 家庭での読書活動の推進		全世代
5 全国読書週間・各種コンファレンスの開催と国際交流の推進	☆	全世代
6 書店・出版社・各種企業との連携		全世代
7 三郷子ども読書週間、読書ウィークの実施と読書フェスティバルの開催		全世代
8 子ども司書の育成と活動支援		児童・生徒
9 読書ボランティアの養成と活動支援		青少年～
10 学校図書館と学校読書ボランティアとの連携		青少年～

☆は今計画で重点的に取り組む施策です



計画のキャッチフレーズ
日本一「本とふれあえるまち」

日本一「本とふれあえるまち」

三郷市はキャッチフレーズを達成するために読書密度を高めます。

読書密度とは3つの基本方針（地域・機会・人）と連動した**三郷市独自の数値**です。

①市内で読書に関する拠点を増やして市民と本との距離を縮めます

読書拠点（※）÷ 市の面積 = 地域の読書密度

※図書館、図書室、予約図書受取カウンター、ふれあい文庫、小・中学校、図書返却ポスト、ふれあいブックワゴンの訪問場所等の合計。

この数値により、1kmの範囲内に何か所の読書拠点があるのかが分かります。（地域の読書密度が大きくなればなる程、市内に読書拠点多いことになります）

②市内で本と人との出会いを増やして市民が本に親しむ機会を増やします

本との出会い（※）÷ 市の人口 = 機会の読書密度

※図書館等での貸出冊数、学校図書館での貸出冊数、各種事業（出張図書館サービス、ブックスタート、らんどせるブックよもよも等）の参加者、各種イベントの参加者、家読ゆうびんコンクール応募数、ふれあい文庫の蔵書数の合計。

この数値により市民1人に対し本との出会いがどの程度あったのかが分かります。（機会の読書密度が大きくなればなる程、市民と本との出会いが多かったことになります）

③市内で活動する読書と市民をつなぐ人を増やします

本と市民をつなげる人の数（※）= 人の読書密度

※読書ボランティアの人数、子ども司書の人数、ふれあいブックサポーターの人数の合計。

この数値により、市内に本と市民をつなげる人が何人いるのかが分かります。（人の読書密度が大きくなればなる程、市民と本をつなぐれる人が多くなったことになります）

今後は各数値の上昇を目指していきます

読書密度

計画の進捗を計っていくための
三郷市独自の数値、計画期間中
それぞれの基本方針に関する
3つの数値を毎年算出する。
具体的な数値目標は設定せず、
各数値の上昇を目指していく。

読書密度の状況

令和2年度（参考）

地域：1.52 機会：10.51 人：720

令和3年度

地域：2.42 機会：13.06 人：779



基本方針 1 どこでも本と出会える環境「地域」

本の架け橋まるごとネットワーク

R4 ふれあいブックワゴン訪問先マップ

認定こども園みさとさくらの森
絵本セット貸出



多世代交流館 ふれあいパーク
出張おはなし会



上口保育所
絵本セット貸出&おはなし会



ピアランティエ交流センター
子ども司書養成講座
開講式・閉講式



彦沢老人福祉センター
子ども司書によるおはなし会



三郷中央におどりプラザ
図書館司書による出張講座



南児童センター
子ども司書によるおはなし会

毎月ふれあい文庫にも
本を届けています



三郷中央におどりプラザ

ふれあい文庫の本を入れ替える
ふれあいブックサポーター
(岩野木老人福祉センター)



東町みなみ町会隣友会
「読書・文化クラブ」
発足1年記念集会

R4年度ふれあいブックワゴンでお届け

○保育所・幼稚園 ⇒ 約1000冊

○市内全小中学校 ⇒ 約4700冊

図書館資料の団体貸出 1747冊

旅するみさとブックライブラリー

for school 1658冊

らんどせるブックよもよも 1277冊



早稲田保育所
絵本セット貸出
&出張おはなし会



いこいの家717
出張図書館講座



早稲田児童センター
子ども司書によるおはなし会



ネットヨタ東埼玉 三郷店
子ども司書によるおはなし会



〇△口子ども食堂
子ども司書によるおはなし会



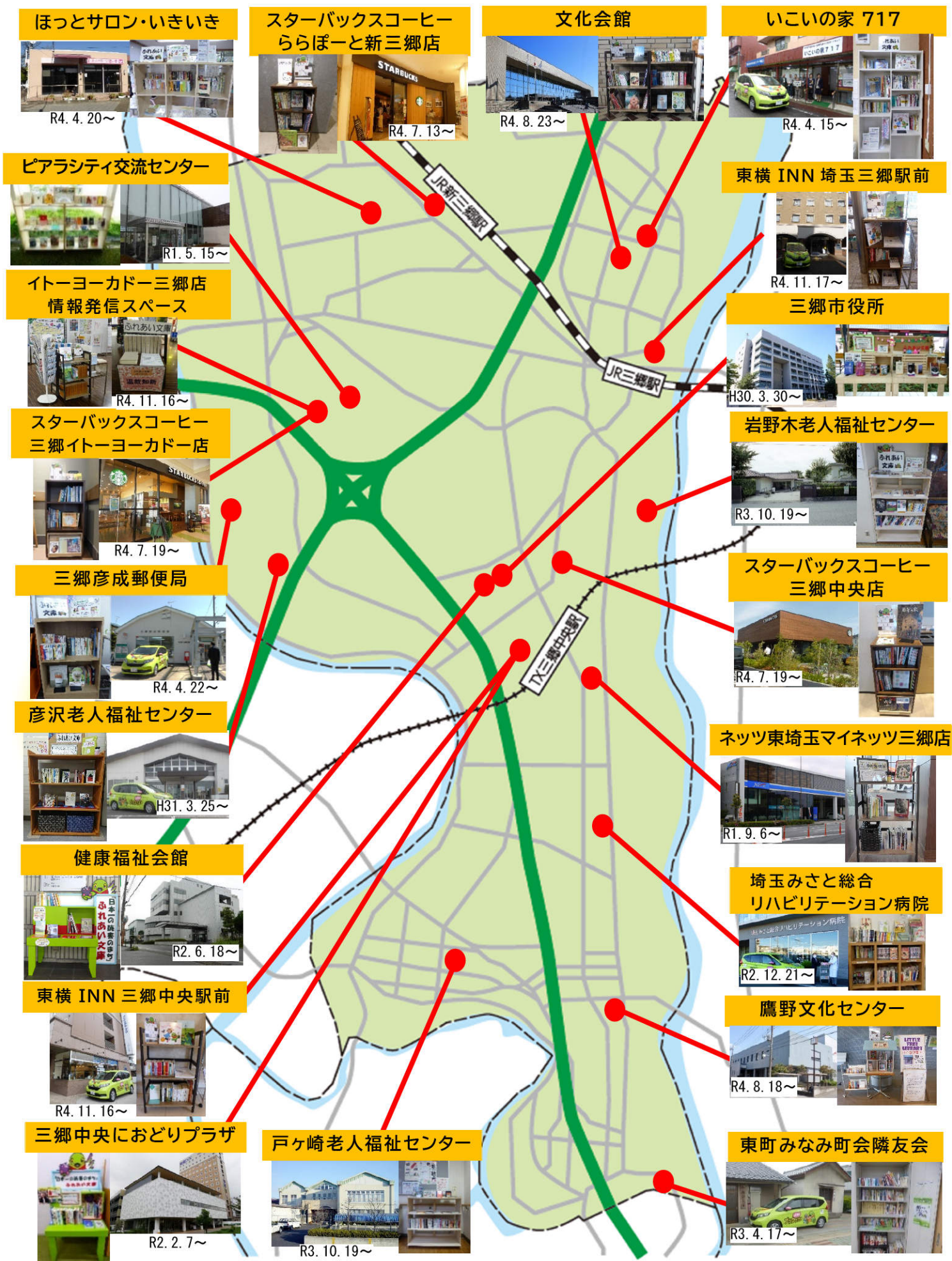
認定こども園 栄光けやきの森
みさと幼稚園
絵本セット貸出



R5.1.16 時点

ふれあい文庫 マップ

R4. 11. 21 現在



ブックコラボレーション事業

令和 4 年度 各課との主な連携事業

【障がい福祉課】

みさと秋の読書まつり連携 聴覚障がい理解促進セミナー
「手話って楽しい！～ダンスで手話に触れてみよう～」



【下水道課】

下水道の日図書館展示



【秘書課】三郷市市制施行 50 周年記念
友好都市からの寄贈本 50 冊巡回展示



【子ども支援課】

希望の郷交流センター
北児童館図書室用
本選定

【総務課】統計調査員研修会
「読書で脳がいきいき元気講座」



ふれあいブックサポーター

市民から希望者を募り、3 回連続講座を受講いただいた方を「ふれあいブックサポーター」に認定。現在 16 名のかたが、地域のふれあい文庫の日々のお手入れや、定期的な本の入れ替えを行ってくださっています。令和 5 年度は、今年度の受講生の中から新たに 16 名の方がサポーターとして活動に加わってくださる予定です。



本でつながる「ふれあいトライアングル」事業

第2次日本一の読書のまち三郷推進計画のキャッチフレーズである、日本一「本とふれあえるまち」の実現のため、「ふれあいブックワゴン」、「ふれあい文庫」、「ふれあいブックサポーター」の3つの「ふれあい」を冠した、「ふれあいトライアングル」事業が、今年度から本格的に始まりました。3つの事業が互いに連動することで、多世代の市民による主体的な読書活動を推進し、読書環境がさらに充実することを期待しています。



ふ	れ	あ	い
ブ	ッ	ク	
サ	ポ	ー	タ



ふ	れ	あ	い
	文	庫	



日本一「本とふれあえるまち」



ふ	れ	あ	い
ブ	ッ	ク	
		ワ	ゴ



基本方針3 誰でも本を通じてつながる「人」

令和4年度 子ども司書 活動の様子



子ども司書養成講座閉講式



子ども司書養成講座



彦沢老人福祉センター

子ども司書によるおはなし会



文学講演会



○△□こども食堂



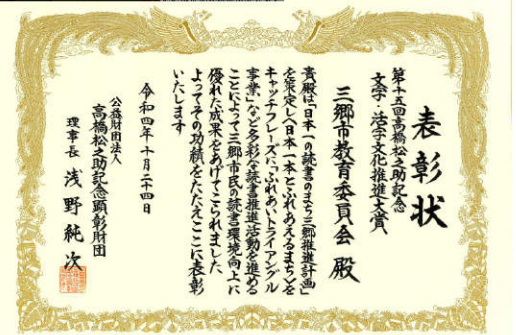
ネットトヨタ

まつのすけ 埼玉県初受賞 第 15 回高橋松之助記念

「文字・活字文化推進大賞」受賞

公益財団法人 高橋松之助記念顕彰財団主催の第 15 回高橋松之助記念「文字・活字文化推進大賞」を、三郷市が、埼玉県で初めて受賞しました。

令和 4 年 10 月 24 日(月)に千代田区の出版クラブビルで開催された贈呈式では、有田前教育長が登壇し、賞状及びトロフィーと、副賞の 30 万円を受け取りました。副賞につきましては、未来を担う子どもたちの探求型学習を支援するため、公共図書館で子ども向け総合百科事典「ポプラディア」と図鑑の購入に活用し、小中学校等へ貸出を行う予定です。



月刊コロンブス 12 月号

「日本一の読書のまち三郷」の取り組みインタビュー掲載

東方通信社発行のビジネス誌月刊「コロンブス」12 月号に、「読書で子どもの「生きる力」を育てる!!「日本一の読書のまち三郷」の先進的な挑戦！」と題して、大塚教育長と梅澤部長のインタビュー記事が掲載されました。

